

中国・四国地方の信用組合職員との合同勉強会を開催しました

- 地域の事業者は人口減少・少子高齢化に伴う需要減少や経営者の高齢化・後継者不足など様々な問題を抱えている中で、さらに、物価高騰や人手不足の影響等により、事業者の経営課題が多様化していることから、「事業承継を見据えた経営改善支援」をテーマに、中国・四国地方の信用組合職員と財務局職員による合同勉強会を開催しました。
- 本勉強会は、参加者間の情報交換やコミュニケーションの充実、それぞれの立場から地域活性化に貢献することを目的に、平成30年度から開催しています。

日時：令和7年2月14日（金）13時15分～17時45分

場所：信用組合会館

参加者：中四国の信用組合職員、中国・四国財務局、金融庁、中国経済産業局の若手等職員（51名）



広島県事業承継・引継ぎ支援センター
平野勝正 承継コーディネーターによる
基調講演

令和6年度の勉強会概要

テーマ 「事業承継を見据えた経営改善支援」

基調講演 「事業承継を見据えた経営改善支援」

講師：広島県事業承継・引継ぎ支援センター
承継コーディネーター 平野 勝正 氏

「サプライチェーン事業承継と中小企業の
経営力強化のための支援施策について」

講師：中国経済産業局産業部経営支援課
課長補佐 柿本 剛 氏

グループワーク 事例をもとにした対話型提案検討（2事例）

- 広島県事業承継・引継ぎ支援センター及び中国経済産業局より、事業承継等にかかる基調講演を実施していただきました。
- 基調講演に続き、信用組合、財務局等の職員が8班に分かれ、「事業者役」による対話型グループワークを実施しました。
- 具体的な事例をもとに、信用組合職員等が、製造業やパン屋の経営者になりきった財務局職員と対話を重ね、課題に対する支援策を提案しました。

グループワークで発表された課題と支援策の一例

社長の想い：赤字を改善したうえで、
後継者に引継ぎたい

課題：利益率の改善、円滑な経営
体制の引継ぎ



支援策：原価計算支援（同業他社の
原価率紹介や専門家マッチング等）、
経営体制を議論する場の創出等



取組みの成果

- 参加者からは、「事業承継が一番難しい題材であるため、有意義だった。」、「話し合いをしながら課題や改善点についてより深く考えることができた。」といった意見をいただきました。
- 多様な意見に触れ、支援のあり方を議論することを通じ、新たな視点や気づき、職員同士のつながりを得られたことで、今後の更なる支援や各機関の連携が期待されます。当局としても今後もこうした連携の取組みを継続してまいります。